

# 林下 はやしした とよひこ

## 議員活動報告

新清風会

末本幸夫、佐々木一弥、畠山明朗、林下豊彦

## ご挨拶

昨年7月の鯖江市議会議員の選挙では皆様のお力添えを頂きまして当選することができましたこと改めまして御礼を申し上げます。

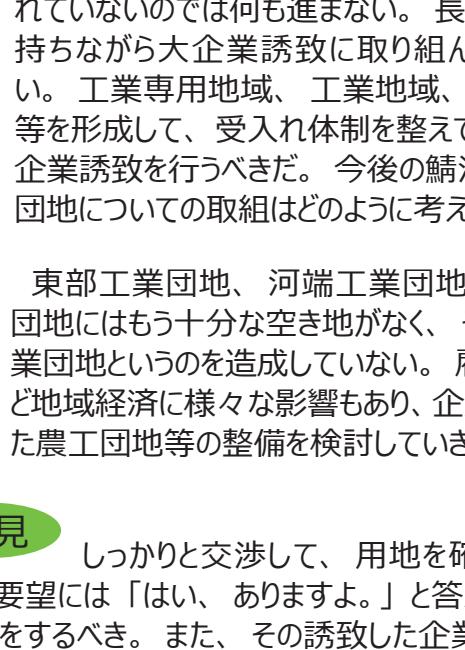
さて、市議会議員2期目の活動が始まり早半年となります。この間の私の活動の報告をさせて頂きたくこのような報告書を作成いたしました。ご一読いただければ幸いでございます。

## 所属委員会等

- ・産業建設委員会（常任委員会）委員長
- ・議会運営委員会 委員
- ・議会等改革推進特別委員会 委員
- ・福井県丹南広域組合 議員
- など

## \*常任委員会とは\*

鯖江市の予算や議案などを20人の議員が、それぞれの専門分野に別れて審査審議するための委員会です。鯖江市では「総務委員会」「産業建設委員会」「教育民生委員会」の3つの常任委員会があります。



林下豊彦 はやししたとよひこ  
生年月日 1961年6月4日(62歳)  
連絡先 090-4323-7929

## 経歴

神明小学校 卒業  
中央中学校 卒業  
武生高校 卒業  
郡馬大学 卒業

『赤土の子』です  
正しく 美しく

## その他

福井県体操協会 副会長  
福井県バスケットボール連盟 広報委員  
鯖江北コミュニティースポーツクラブ 副会長  
県立盲学校 元PTA会長

## «令和5年 9月 定例会一般質問»

## 災害に対する備えについて

Q 令和5年7月の雨による被害があつたが、被害を被った方は罹災証明をもらうことでお見舞金などを支援していただけるようだが、それはどのようなものなのか。

A 被災者の申告を受けて、被害の程度に応じて、全壊または流出で6万円、半壊で3万円、一部損壊は2万円、床上浸水は2万円となっている。

Q 大規模災害被災時における、円滑かつ速やかな住居の再建等の為に水害保険、地震保険等の新規加入者等が負担する経費の一部について補助金を交付するという自治体もあるが、鯖江市はこのような考えはないのか？

A 保険に対する補助については、いざというときに、スムーズに生活を再建するためには、自助による備えが重要であるということから、住民によります保険、共済への加入促進のための普及啓発を図っている。東日本大震災で、被害に遭った住宅の新築費用としては平均で約2,500万円と高額であり、いざというときにスムーズに住宅生活を再建するには、保険、共済に加入するなど自助による備えが大変重要なとなる。市が独自で実施できる被災者支援については研究していく。

## 意見

見舞金だけでは再建は困難。この支援制度は、自分自身で自分の財産を守るという意識の醸成に寄与するものもあるといえる、災害の事象が起こった後の見舞金ではなく、もっと川上の効果の大きい事前の支援をして頂きたい。

## 企業誘致について

Q 新たな産業や大規模企業の誘致と、眼鏡産業の支援とを同時に取り組んでいかなければならぬ。企業誘致の現状は、どのようにになっているか。

A 企業ニーズや整備状況に合った助成制度の情報を提供している。県外での企業誘致フェア等にも出展し、県の企業誘致担当課とは密な連絡を取り合っている。

## «令和5年 12月 定例会一般質問»

## 学校給食について

Q 鯖江市内の12の小学校と3つの中学校では、児童・生徒に給食を提供している。給食を通して食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう教育としての給食、つまり食育として取り組んでいる。しかしながら昨今、給食や食堂などを提供している大手の運営会社が破綻するニュースがある。また、コロナやインフルエンザが調理員や納入業者に及ぼす、給食の提供ができないくなる。十分な対策、危機管理が必要である。鯖江市はどう考えているか？

A 中学校の納入業者さんからの御要望に対して、食材費や燃料代、人件費などの上昇分を勘案して値上げをした。調理員は、作業前には必ず健康状態の点検を行なうなど、安全でおいしい給食提供に万全を期しているが、調理員の急な欠員には臨時の代替調理員を考えている。それでも給食の提供がかなわない場合には簡単な調理で提供可能なメニューに変更したり、全て使い捨ての器を用いて提供したりすることとしている。

Q 人員配置や給食納入業者に対する対応などについての今後の危機管理について、お考えをお聞かせください。

A 中学校の給食は、給食が供給不能となることは絶対に避けなければならない。納入業者との定期的な協議で、経営上の課題や御要望なども聞き取りする場を設ける。また、小学校の自校給食は、今後も継続していくために調理員さんの確保を拠点校に尽力していく。複数校の調理を拠点校に集約していく、調理員のものと配達する方式や、各校での業務を一括調理するセンター方式で、各校での業務を委託、など幅広く検討していく。非常時の備えには非常用トイレの設置のカレーを今後検討する。

## 意見

本当に給食は大切なものである。調理員の健康管理で、補助員の準備で、学校給食を補完し合っているところを重視していく。物価高騰への配慮をしっかりといたいと感じた。

## 物価上昇に伴う契約内容見直しについて

Q 鯖江市が契約している多くの業務委託契約について、エネルギー価格の上昇や原材料や資材価格の高騰などが影響して負担増となっている場合、事業者の負担増を支援することはできないのか。

A 本市の契約約款においては、契約時点から資材価格等の変動額が請負金額の1%を超えた場合に契約変更の協議を行う。物品購入の契約においても、発注者または受注者が相手方との協議の上、契約金額、その他の契約内容を変更することができる。

Q 先日、公正取引委員会と政府が、労務費を適切に転嫁できるよう価格交渉についての指針を発表している。エネルギー価格の上昇や資材、原材料の上昇分についても、発注者側は考慮すべきである。積極的に状況を確認して、十分に配慮しながら契約について決定していかなければいけないと私は考えるが、その点についてどう考えているか。

A 原材料費や人件費等に著しい上昇が見られる状況で、契約変更が必要になる場面はこれまで以上多くなると認識している。その點で、契約の変更については、受注者の状況も鑑みつつ、契約変更等の協議について対応できるよう、その方法等について研究していく。

## 意見

地域の住民と子どもの本当にワイン・ワインの活動があるので、今後も継続できるように鯖江市としてもしっかりとサポートしていただきたい。

## 鯖江市管理の施設の設備環境について

Q 鯖江市内には、大規模な施設や公民館、児童館、文化館など多様な施設がござるが、安全性や利便性、バリエーションなど多くの配慮はなされている。しかし、ながら水回りや空調などまだまだ十分ではない。今の時代に合った施設として、市民の皆様が利用するのに快適な環境に整備していくことを、今後についてお考えは？

A 本件につきましては、受注者側が取引価格を上げてほしいとはなかなか言いくらい。政府が示した発注者側の行動指針のよう、発注者側が受注者側との定期的な協議の場を設けて、信頼関係を築いて取引契約を行ってほしい、十分配慮して研究していただきたい。

## «令和5年 12月 定例会一般質問»

A 施設の安全性を確保した上で、施設の長寿命化を考慮しながら計画的に改修を行なう。またその際に、省エネ化やユニバーサルデザインなど、時代に合ったきめ細やかな対応が必要であると考える。今後、基本に沿って改修していくには利用者のアドバイスを参考にしながら、施設の改修を行なう。

«その他活動»

国際メガネ展IOFT2023 観察（10月11日）

中心市街地活性化街中図書館 観察（1月17日）

農業就職支援先進地 祝察（1月4日）

中心市街地活性化街中図書館 観察（1月17日）

ボランティアアドバイス 観察（1月18日）

意見

施設が改善されれば一番いいのだが、すぐには改善されなくては今後の計画や、どう取り組んでいくか、どう対策するかを少しでも伝えて頂けると、使っていく方々も安心する。しっかりと利用者ファーストで考えて対応して顶きたいたい。

見守り隊について

<div data-bbox="511 2314 899